

第5章

保健・医療・福祉基盤づくりと連携

1 未病改善、ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発に係る取組実績	84
2 保健医療福祉計画の推進	85
3 保健医療福祉の基盤づくり	88
4 適正な保健・医療・福祉等の確保	90
5 健康危機管理対策	97

1 未病改善、ともに生きる社会かながわ憲章の普及啓発に係る取組実績

県央地域県政総合センターと連携し、厚木合同庁舎内に未病コーナー（平成 30 年度～）や県央地域の障害者地域作業所の手作り商品を展示するケースを設置（昭和 61 年度～）しました。

また、ともに生きる社会推進週間（令和 4 年 7 月 24 日～7 月 30 日）にあわせて、厚木合同庁舎内に県央地域の障害者地域作業所の P R ポスターを掲示しました。

なお、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置として、県下全体で事業やイベントの中止・縮小を余儀なくされたため、管内市町村のイベント等と連携した普及啓発の取組みの実施について、取組実績を上げられませんでした。

2 保健医療福祉計画の推進

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成9年度～）

県央二次保健医療圏（厚木保健福祉事務所・厚木保健福祉事務所大和センター管内）の保健、医療、福祉に係る重要事項を協議するため、県央地区保健医療福祉推進会議を設置し、平成29年度からは、神奈川県地域医療構想の県央構想区域の構想の達成を推進するために必要な事項を協議事項に加えています。

また、地域医療構想の推進に向けて県央構想区域内において検討するために、推進会議内に病院間の情報共有や意見交換等を行う県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループを設置して、必要に応じて随時開催しています。

ア 県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内 容	場 所	出席者数
8月30日	1 協 議 (1) 令和4年度保健医療計画推進会議及び地域医療構想調整会議の運営について (2) 病床整備について 2 報 告 (1) 令和4年度第1回県央二次医療圏地域WG結果概要について (2) 令和3年度病床機能報告結果（速報値） (3) 地域医療介護総合確保基金（医療分）について (4) 外来機能報告制度について (5) 地域医療構想をめぐる国の検討会における議論について (6) 県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査について	Web 会議	28
11月29日	1 議 題 (1) 「公的医療機関等 2025 プラン」及び「2025 年に向けた対応方針」の更新について 2 報 告 (1) 令和4年度第2回県央二次医療圏地域ワーキンググループ結果について (2) 令和4年度第1回地域医療構想調整会議結果概要について (3) 令和4年度病床整備事前協議について (4) 基準病床数の見直し検討について (5) 地域医療介護総合確保基金（医療分）令和4年度計画について (6) 外来機能報告制度について (7) 地域医療構想をめぐる国の検討会における議論について (8) 県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査について	Web 会議	27

2月20日	1 議題 (1) 公的医療機関等 2025 プランの更新について (2) 公立病院の経営強化プランについて 2 報告 (1) 令和4年度第3回県央二次医療圏地域ワーキンググループ結果について (2) 令和4年度第2回地域医療構想調整会議結果概要について (3) 外来機能報告制度について (4) 地域医療構想をめぐる国の検討会における議論について (5) 県央地区における居住施設等の介護サービス(医療対応)等調査について	Web会議	27
-------	---	-------	----

(2) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域・職域連携推進協議会を設置し、働き盛りの世代を主な対象として、地域保健と職域保健が連携し、健康課題に対する効果的な対策等を推進しています。

ア 県央地区地域・職域連携推進協議会の開催（平成27年度～）

開催日	内 容	場 所	構成員	参加者数
新型コロナウイルス感染症感染症対応のため開催見送り				

イ 県央地区地域・職域連携推進協議会ワーキンググループの開催（平成27年度～）

開催日	内 容	場 所	構成員	参加者数
3月22日	1 令和4年度までの取組みと令和5年度に向けた取組について (1) 今までの取組内容 ア 出前講座の活用 イ 健康診査等の実施率と受診率の向上について ウ ホームページの充実と強化について (2) 構成機関の概要について 2 神奈川産業保健総合支援センターの提案について 3 その他	厚木合同庁舎1号館2階小会議室とオンラインの併用開催	厚木労働基準監督署、かながわ労働センター県央支所、神奈川産業保健総合支援センター、県央地域産業保健センター、市川村健康づくり主管課、厚木保健福祉事務所、大和センター	15

ウ 健康教育

開催日	内 容	場 所	対 象	出席者数
6月28日 29日 30日	退職準備研修 「セカンドライフプランセミナー～心の健康と身体の健康～」	相模原市立市民・大学交流センターユニコムプラザさがみはら	駐留軍等労働者労務管理機構の労働者のうち51歳以上の希望者	163 (合計)

エ その他普及啓発等

開催日	内 容	場 所	対 象	出席者数
	実施なし			

(3) 医療と介護の連携

2025年には、医療や介護が必要な高齢者が急増し、ピークを迎えることが見込まれています。このような状況の中、高齢者が尊厳を保ちながら、住みなれた地域で自立した生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供できる仕組み）の構築を国、県、市町村がそれぞれの役割の中で取り組んでいます。

厚木保健福祉事務所では、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携の推進を図ることを目的に、平成24年度から地域包括ケア会議を設置し、平成27年度に地域包括ケア・在宅医療推進会議として改編しました。

厚木保健福祉事務所地域包括ケア・在宅医療推進会議の開催

開催日	内 容	場 所	出席者数
3月30日	1 報告 （1）令和3年度書面会議結果報告 （2）令和3・4年度市町村介護保険事業計画の進捗状況 （3）令和3・4年度 保健福祉課事業報告 2 グループディスカッション及び発表 テーマ：新型コロナウイルス感染症への取組みの振り返り	厚木合同庁舎1号館3C会議室、オンラインの併用開催	27

3 保健医療福祉の基盤づくり

(1) 保健衛生研修

開催日	内 容	場 所	対 象	参加者数
令和4年度は新型コロナウイルスの感染症対応のため開催見送り				

(2) 保健福祉事務所実習指導

ア 地域保健実習合同セミナー・合同オリエンテーション

前期 令和4年4月14日（木）14人、4月15日（金）48人

後期 令和4年9月1日（木）33人、9月2日（金）40人

前期開催方法

合同セミナー：厚木合同庁舎2号館4階AB会議室

合同オリエンテーション：ZOOMを活用したオンライン開催

後期開催方法

ZOOMを活用したオンライン開催

イ 実習指導

保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数	備 考（学校名等）
総 数	14	86	
保 健 師	3	8	東海大学、北里大学、神奈川工科大学
看 護 師	5	56	湘南医療大学、横浜市病院協会看護専門学校、厚木看護専門学校、県立保健福祉大学、湘南平塚看護専門学校
管 理 栄 養 士	5	18	県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、神奈川工科大学、関東学院大学、相模女子大学
歯 科 衛 生 士	1	5	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校

(3) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

ア 国民生活基礎調査

調査日 6月2日 対象数 11地区 232世帯

イ 2022年社会保障・人口問題基本調査「第7回全国家庭動向調査」

調査日 7月1日 対象数 2地区 50世帯

ウ 人口動態調査（月報）

エ 医療施設動態調査（月報）

オ 病院報告（患者票：月報）※年度報の従事者票は平成28年度をもって廃止

カ 地域保健・健康増進事業報告（年度報）

- キ 母体保護に関する報告（年度報）
- ク 医師・歯科医師・薬剤師調査
（隔年、本年実施）
- ケ 歯科衛生士、歯科技工士並びに保健師、助産師、看護師及び准看護師の業務従事者届
（隔年、本年実施）
- コ 医療施設静態調査（3年毎、本年実施）
- サ 患者調査（3年毎、本年実施なし）
- シ 受療行動調査（3年毎、本年実施なし）

(4) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア 市町村広報紙の活用

毎月発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ 厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせを掲載し、広く県民への周知を図りました。

ウ X(旧 Twitter)による情報発信

幅広い年齢層に対し、より効果的に事業内容等の情報を伝えるため、ツイッターによる情報発信を随時行いました。（平成24年7月開始）

(5) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。
（活動した時間8時間を1人として換算）

区分	母子保健	健康増進	介護予防・生活支援	歯科保健	精神保健福祉	その他	計
歯科医師		2		3			5
保健師	5	6					11
歯科衛生士				3			3
管理栄養士		6	2			3	11
看護師	1						1
計	6	14	2	6	0	3	31

地域保健・健康増進事業報告 14 (2) 市町村への援助状況より

4 適正な保健・医療・福祉等の確保

(1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項 目	病 院		診 療 所			助 産 所	あんま・ はり・ きゅう	柔道整復	歯 科 技 工 所
	病 院	X線装置等	一 般	歯 科	X線装置等				
総 数	30	33	213	35	187	0	111	66	9
許 可 申 請	開 設		62	7					
	使 用	9	0						
	変 更 等	17	15	5					
届 出	開設・ 設置		7	54	7	88	18	11	3
	変 更 等	4	19	18	6	4	77	47	1
	休 廃 止		7	64	10	95	0	8	5

(2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

ア 病院立入検査

実施病院数 22

実施方法 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえて各病院による自主点検及び実地検査を実施

イ 診療所立入検査

有床診療所 4 施設

人工透析診療所 2 施設

特定眼科 0 施設

(3) 医療関係相談

ア 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	2	3	2	1	2	2	3	3	1	6	0	25

イ 相談方法

電話	来庁	手紙・メール	合計
24	0	1	25

ウ 対象施設

病 院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他	合計
8	11	2	0	4	25

※複数施設相談のため重複あり

エ 相談内容

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	11
医療行為についての疑義、苦情	3
医療関係法令に関する照会	1
医療機関についての問い合わせ	1
その他	9

(4) 介護保険

ア 集団指導(平成 13 年度～)

例年、介護保険指定事業者等を対象に、介護給付サービスの取扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点、指導事例等について、県高齢福祉課及び各保健福祉事務所が共同で、講習会を開催していますが、今年度は、ウェブサイト「介護情報サービスかながわ」への資料掲載及び動画の配信をもって代替措置としました。

実施期間	方 法
10 月 25 日～2 月 28 日	「介護情報サービスかながわ」へ資料掲載及び動画配信

イ 運営指導（平成13年度～）

運営指導は、介護保険指定事業者等の事業所に出向き、帳票類等関係書類の閲覧や関係者の面談により、人員、運営基準等の遵守状況を確認し、改善に向けて指導を行うものです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施計画の大幅な中断・変更があり、例年を大きく下回る実績となりました。

運営指導実施状況（サービス数）

区 分	厚木市		大和市		海老名市		座間市		綾瀬市		愛川町		清川村		合計	
	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防
居 宅 サ ー ビ ス	訪 問 介 護			2		3									5	0
	訪 問 入 浴 介 護	1	1			1	1								2	2
	訪 問 看 護	1	1	1	1	1	1			1	1				4	4
	訪問リハビリテーション	1	1												1	1
	通 所 介 護	1		1						1					3	0
	通所リハビリテーション	2	2	1	1										3	3
	短期入所生活介護	2	1					1	1						3	2
	短期入所療養介護	2	2	1	1										3	3
	特定施設入所者生活介護														0	0
	福 祉 用 具 貸 与							1	1	1	1				2	2
	特定福祉用具販売							1	1	1	1				2	2
計	10	8	6	3	5	2	3	3	4	3	0	0	0	0	28	19
介 護 保 険 施 設	介護老人福祉施設		2						1							3
	介護老人保健施設		2		1											3
	介護療養型医療施設															0
	計		4		1				1							6
合 計		22		10		7		7		7		0	0		53	

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項 目	総 数	医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	管 理 栄 養 士	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	歯 科 技 工 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員
登録申請	430	19	3	42	10	3	192	4	33	26	8	23		39	22	5		1
籍訂正	332	10	0	32	26	4	155	6	29	27	3	15	1	16	4	3		1
再交付	29	3	1	6			9	1	2	1		4		2				
登録抹消	6	2	2	2														
返納																		

(6) 献血

令和4年度、神奈川県献血目標の88,510人のうち厚木保健福祉事務所の目標は6,441人(2534.6リットル)と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、6,818人に献血をしていただきました。

ア 献血数・目標数(市町村別)

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)
総数	6,441	6,818	209	544	6,232	6,274		
厚木市	1,602	3,385	77	293	1,525	3,092		
海老名市	3,342	1,699	110	160	3,232	1,539		
座間市	893	1,061	14	64	879	997		
愛川町	556	639	6	22	550	617		
清川村	48	34	2	5	46	29		

イ 年次別献血数・目標数

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)	目標数(人)	献血数(人)
平成23年	8,543	9,515	523	103	8,020	9,412		
平成24年	9,009	9,470	271	196	8,738	9,274		
平成25年	8,639	11,131	259	553	8,380	10,578		
平成26年	8,551	9,751	431	412	8,120	9,339		
平成27年	8,689	10,575	635	574	8,054	10,001		
平成28年	9,229	9,922	463	468	8,766	9,454		
平成29年	10,158	9,278	470	418	9,688	8,860		
平成30年	9,052	9,394	286	417	8,766	8,977		
令和元年	9,948	9,298	286	410	9,662	8,888		
令和2年	9,671	7,746	239	320	9,432	7,426		
令和3年	8,573	6,373	182	458	8,391	5,915		
令和4年	6,441	6,818	209	544	6,232	6,274		

(7) 表彰

ア 神奈川県保健衛生表彰（知事）〔令和4年度：令和4年11月30日：式典は中止〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	上出 正之	医師 厚木市立病院
	米元 康蔵	医師 なごみ皮ふ科
	相川 浩一	理学療法士 社会医療法人ジャパンメディカルライアンス
	渡辺 美加子	看護師 神奈川リハビリテーション病院
	平野 春代	医療事務 黄金井形成外科小児科クリニック
環境衛生関係功労者	瀬戸 伸一	美容師 トミ美容室
食品衛生関係功労者	鈴木 正昭	食品製造業 有限会社羽田製麺
地域公衆衛生活動関係功労者	湧上 直美	保健師 座間市

施設の部

施設名	業種	施設の所在地
有限会社静華	飲食店	海老名市国分寺台

献血推進団体（知事表彰）

表彰団体名	所在地
株式会社パブコ	海老名市柏ヶ谷

イ 保健衛生表彰（厚木保健福祉事務所長）〔令和4年度：令和4年11月30日：式典は中止〕

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	片山 文彦	医師 小児科内落合医院
	小熊 利明	医師 さがみ野中央病院
	山崎 雅彦	医師 座間小児科診療所
	伊藤 正美	歯科医師 歯科伊藤医院
	鈴木 美奈子	歯科医師 鈴木歯科医院
	小松 純一	歯科医師 矯正歯科小松クリニック
	田所 正憲	薬剤師 株式会社神中央薬局
	安西 悦子	准看護師 小児科内科落合医院
	岸川 園子	看護師 海老名市急患診療所
	江口 美智子	看護師 広井内科医院
	高津戸 敏子	看護師 東名厚木病院
	郡山 美恵子	看護師 厚木市立病院
	岡本 恵	歯科助手 大沢歯科医院
村田 恵理	歯科助手 櫻田歯科医院	
環境衛生関係功労者	浜 洋	理容師 有限会社ヘアサロン ハマ
	山田 佳代子	美容師 カuttingボックス飛鳥
食品衛生関係功労者	原 壽博	飲食店営業 ぼくんち
	清水 長次	飲食店営業 ホルモン焼 志美津
地域公衆衛生活動関係功労者	池田 俊夫	飲食店営業 レストラン ボンヌマン
	吉崎 雅江	

優良施設

施設名	業種	施設の所在地
倉田精肉店	食品販売店	座間市相模が丘
呑み食いや 一條	飲食店	厚木市水引

献血推進団体（厚木保健福祉事務所長表彰）〔令和4年度：令和4年11月30日：式典は中止〕

表彰団体名	所在地
厚木マルベリーライオンズクラブ	厚木市恩名
小田急労働組合 海老名電車基地	海老名市めぐみ野
株式会社シンクスコーポレーション	愛甲郡愛川町中津
株式会社牧野技術サービス三増テクニカルセンタ	愛甲郡愛川町三増

5 健康危機管理対策

(1) 県央地域災害医療対策会議（平成 27 年度～）

神奈川県保健医療救護計画に基づき、神奈川県保健医療調整本部（以下「県保健医療調整本部」という。）と連携して、県央地域における災害時医療救護活動等をコーディネートするため、県央地域災害医療対策会議を設置しています。

平成 29 年度より、県央地域災害医療対策会議を相模川の東部地区と西部地区に分けて、東部会議と西部会議での開催としました。令和 4 年度は前年に続き新型コロナウイルス感染症への対応等により、開催を見送りました。

(2) 高病原性鳥インフルエンザ対策

ア 野鳥からの高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5 亜型）検出への対応

令和 4 年 9 月 25 日、管内施設に感染野鳥 1 羽が持ち込まれたため、特に現地対策本部等は設置されなかったが、保健予防班の役割となる、当該野鳥の検査や防疫作業従事者で接触した関係者に対し健康調査等を行った。

健康調査（問診票提出者含む）実施者 17 名

イ 神奈川県特定家畜伝染病対策防疫演習への参加

県央地域県政総合センターにおいて、令和 3 年 7 月の豚熱発生時に判明した課題の検証を踏まえたマニュアルの改訂等を行い、これを用いて実際の指揮命令系統や動線を確認する演習が実施され、現地対策本部保健予防班として参加、協力しました。

日時：令和 4 年 10 月 13 日（木） 13 時 00 分～15 時 30 分

場所：神奈川県総合防災センター

内容：座学研修

豚熱発生を想定した実動訓練

【実働訓練の内容】

- ・指揮命令系統の確認：指揮所の設置、指示・情報共有内容の確認、各担当間の連携確認
- ・資機材訓練：資機材の発注、資機材の受入れ、所定場所への移動、記録・管理方法の確認
- ・体調不良者対応訓練：防疫作業中の従事者について、保健師等状況確認、従事者の運搬
- ・殺処分訓練：模範豚を使用した追い出し、電殺・ガス殺のデモ、模範豚をフレコンバッグに詰込み
- ・レンダリング訓練：レンダリング装置（立て看板等で代用の設置、統括・リーダー・開封班・生成物班・搬出班の動きを確認、県建設業協会、県産業資源循環協会も参加し、汚染区域や清浄区域での重機の動線を確認

(3) 新型インフルエンザ等対策

目的：新型インフルエンザ等が県内で発生した場合に備え、保健福祉事務所、センターにおける役割や連絡体制等を確認し、発生時の体制強化を図る。

ア 情報伝達訓練

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組のため実施なし。

イ 地域における訓練

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組のため実施なし。

ウ 新型インフルエンザ等地域医療体制対策会議

(感染症対策会議と合同開催)

開催日	内 容	構成機関	出席者数
令和4年 12月21日 (オンライン)	(1) 神奈川県の新規新型コロナウイルス感染症の発生 動向について (2) 感染症対策について ア 令和3年の結核患者の状況と令和3年度 結核対策について イ 令和3年度の結核以外の感染症の状況 と対策について (3) 厚木保健福祉事務所管内の新規新型コロナウイルス 感染症の状況について (4) 新型コロナウイルス感染症に関する取組みに ついて (5) 各機関の対応状況について (6) その他	医療機関、 医師会、 歯科医師会、 薬剤師会、 警察署、 市町消防本部、 市町村健康危機 管理主管課、 県衛生研究所、 県医療危機対策 本部室、 県央地域県政総 合センター、 厚木保健福祉事 務所	43名